

中西 健夫（なかにし・たけお）先生

株式会社ディスクガレージ 代表取締役社長
一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 会長

略歴:

- 1972年 京都にてバンド活動開始
- 1979年 5月 バンドでメジャーデビュー(全く売れず1年で解散)
- 1980年 11月 株式会社 ディスクガレージ 入社
- 1990年 4月 株式会社 ディスクガレージ 取締役専務 就任
- 1993年 4月 株式会社 ディスクガレージ 代表取締役副社長 就任
- 1997年 4月 株式会社 ディスクガレージ 代表取締役社長 就任

その他兼任:

- 一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 会長
- ポイントグリーン推進環境会議 理事
- 株式会社DGエージェント 代表取締役CEO
- 株式会社横浜フリースポーツクラブ 取締役



〈講義概要〉

本講座の寄附団体のひとつである一般社団法人コンサートプロモーターズ協会の会長であり、株式会社ディスクガレージの代表取締役社長中西健夫氏が、ライブエンタテインメント業界の実情について講義を行った。

講義ではまず、音楽の歴史、特にライブの変遷について、時代を象徴するライブ映像を交えながら分かりやすく説明し、時代とともに音楽ビジネスが大きく変化していることを示した。また、音楽を通じた東北地方への復興支援活動について紹介し、アーティストや音楽業界の方々の思いを伝えるとともに、継続的な復興支援のために今後も様々な活動を行っていききたいと言及。学生は音楽の持つ力、影響力を改めて実感した。

続いて、エンタテインメント業界の商況について詳細な資料を提示し、ビジネスの中心がCDからライブへと移行し、ライブ産業が重要なポイントとなっていることや、韓流アーティストの隆盛について解説した。さらに、グローバル化するエンタテインメントの未来について言及し、日本が韓国や中国と比べて海外展開に出遅れていることや、海外進出に向けた世界で戦える人材の育成が求められていること、日本の良さを活かしたビジネスモデルの構築が必要であることを示した。最後には、もっと海外へ積極的に進出して行って欲しいと学生に思いを伝え、グローバル化へ向けた今後の音楽産業のあり方を示す講義となった。

〈受講生の感想〉

震災後の話を聞いて、中西先生を含めた音楽業界の人々が音楽に対して真剣に向き合っていること、人々のために役に立つことを模索していることを知り、改めて私たちの生活の中で音楽は欠かせない存在なのだと感じました。人々を楽しませて、生きる勇気を与え、義援金も作りだす、人間の力、アーティストの力ってすごいなとしみじみ感じました。ライブの売上額を見ても、ライブがどんどん私たちにとって必要なエンタテインメントになりつつあり、生活の中に浸透しているのだと思いました。

立命館大学・国際関係学部・3 年生

自分も何度かライブに行ったことがあるけど主催する側の視点は全く知らなかったので非常に興味を持つことができました。動員数が多ければその分収入があるわけではなく、色々な対策を取らなければならないことを知った。また、震災後のライブ活動にも変化が見られ、一度解散したバンドが再結成したり、一人間として被災地へボランティアへ行くなどし、ライブの収益を全て支援に使うなど、本当に音楽の力、アーティストの力はすごいものと思った。

立命館大学・産業社会学部・2 年生

時代の流れとともにライブの形が変化していることを知りました。80 年代に 20 万人ライブは伝説的なライブだと思いました。また、グローバル化の話を聞いて、日本が世界から遅れているということを実感し、とても危機感を抱きました。グローバル化について、社会に出る前に一度実態を把握して、真剣に向き合う必要があると感じました。

立命館大学・映像学部・3 年生

震災を通じて音楽は本当に必要なのか、ライブはすべきなのか、すごく深い思いなどが含まれていることを初めて知った。音楽はライブ一つで何人も人の生活を支えているということも理解できた。ライブという一つのエンタテインメントが人と人とを繋ぐ大きな存在であり、震災によってその大切さを認識できたと思う。そのことをもっと私たちが意識して、音楽の人を繋げる力などを意識していくべきだと感じた。

立命館大学・産業社会学部・3 年生

私もよくアーティストのライブに行きますが、こんなにも会場設営やスケジュールや場所の管理など様々なサポートがあって開かれていることに改めて気付かされ、苦勞も大きいと認識しました。やはりライブなど音楽は震災のときのライブ映像を見てもわかる通り、人と人を繋げると思います。現代において様々な国の音楽が入ってきて、また、ネット社会が進む中で、CD も売れず厳しいですが、ライブというエンタテインメントを通して多くの人が元気になれると思いました。

立命館大学・法学部・4 年生

1980 年代から今にかけてライブというのも色々進化をとげているのだと思った。また今日印象に残ったのは震災後のライブについてのお話です。アーティストの方やライブに携わる人が震災を受けて被災者の助けになることをしたいと一生懸命活動されていたところに音楽の力はすごいなと思いました。私も交響楽団で演奏会をしています、中西先生のように人に何かを伝えられるように頑張ります。

立命館大学・映像学部・2 年生

